

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.40, 2008.2 : 7-12
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=4022
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院大学アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教研主任兼教授を経て、現在、聖学院大学学長。その他荒川区不正防止委員会委員長代理など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著)、『神を仰ぎ人に仕う』(共著)ほか、著書・論文多数。

須 永 隆 すなが・たかし

1957年生まれ。早稲田大学大学院商学研究科博士課程後期修了。早稲田大学助手を経て、現在、亜細亜大学経済学部教授。専門はユグノー移民受入れ(技術移転)を中心とするイングラント経済史および宗教社会学。

〔著書〕『歴史のなかの現代』(共著、ミネルヴァ書房、1999年)、『近代ヨーロッパの研究③教会』(共著、ミネルヴァ書房、2000年)、『Book & Bootsによる経済史概論〈アジアの自立と共生をめざして〉』(改訂増補版)(共著、亜細亜大学、2000年)。

〔論文〕『「ナント勅令」廃止(1685年)前後のロンドン・フランス人教会と難民救済——熟練職人集団受入れ時の諸問題——』(『亜細亜大学経済学紀要』第26巻、2・3合併号、2002年)、
「サセックスにおける閉鎖型村落と開放型村落の構造——農村工業の展開と非国教主義の伝統——」(『亜細亜大学経済学紀要』第31巻、1・2合併号、2007年)、その他。

村 松 晋 むらまつ・すすむ

1970年生まれ。2000年3月、筑波大学大学院歴史・人類学研究科修了、博士(文学)。2004年4月より聖学院大学人文学部日本文化学科専任講師。専攻は近代日本思想史・精神史、日本プロテスタント史。

〔著書〕『三谷隆正の研究——信仰・国家・歴史——』(刀水書房、2001年)

小場瀬 琢磨 おばせ・たくま

1973年生まれ。立命館大学法学部法学科卒。早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。ライデン大学にてLL.M取得。現在、早稲田大学大学院法務研究科助手。ヨーロッパ法専攻。
〔論文〕「EU域内市場の基本的自由の基本権への収斂化——欧州憲法条約を契機として」（『早稲田法学会誌』第55号145－185頁）, 「EU域内市場の基本的自由相互間の収斂と分化」（『日本EU学会年報』第27号225－241頁）, 「欧州経済領域（EEA）における均質性原則——複数地域経済統合体の融合と域内共通秩序の実現の一例として」（『経済産業研究所ディスカッションペーパー』RIETI Discussion Paper Series 07-J-051）。

佐藤 義明 さとう・よしあき

1972年生まれ。1995年東京大学法学部卒。2006年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。東京大学社会科学研究所助手を経て、現在、広島市立大学広島平和研究所専任講師。2008年4月より成蹊大学法学部准教授。専攻は国際法、憲法。
〔著書〕「国際秩序形成と国際裁判：国際司法裁判所における判例法形成志向と抗争解決志向」（東京大学出版会、近刊）。
〔論文〕「国際法へのコモン・ロー法律家的なアプローチと9.11後のアラカルト多国間主義」（[2006-2]『アメリカ法』, 2007年）, 「NAFTAの合衆国憲法適合性：法化における“precision”と“delegation”」ISS Joint Research Project Discussion Paper CREP Seminar 9：国家主権と地域主義, 2006年）, 「国法としての国際法と憲法：公共空間の融合する時代における『法の支配』の実現」（『（東京大学）社会科学研究』56巻5・6号, 2005年）ほか。

金子 晴勇 かねこ・はるお

1932年静岡県生まれ。1962年京都大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、聖学院大学大学院客員教授。文学博士（京都大学）。
〔主要著書〕『ルターの人間学』, 『アウグスティヌスの人間学』, 『近代自由思想の源流』, 『マックス・シェラーの人間学』, 『ルターとドイツ神秘主義』, 『近代人の宿命とキリスト教』, 『エラスムスとルター』, 『アウグスティヌスの恩恵論』ほか。
〔訳書〕エラスムス『エンキリディオン』, ルター『生と死の講話』, アウグスティヌス『ペラギウス派駁論集（1）, （2）, （3）, （4）』, 『ドナティスト駁論集』, 『ヨハネによる福音書講解説教（2）』, ベルナル『雅歌の説教』ほか。

山形 和美 やまがた・かずみ

1934年生まれ。東京教育大学文学研究科修了（文学修士号）。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科教授。筑波大学名誉教授。文学博士。

〔専攻〕ヨーロッパ言語文化論／比較文学／文学理論／キリスト教文学論

〔著書〕『岩のつぶやき——現代基督教徒文学論』（笠間書院），『メドゥーサからムーサへ——文学批評の布置』（彩流社），『グレアム・グリーン of 文学世界』（研究社出版），『日本文学の形相——ロゴスとポイエマ』（彩流社），『言語空間の崇高性——ロゴスへの意志』（彩流社），『キリスト教事典』（共著，岩波書店），『文学の衰退と再生への道』（彩流社）。

〔訳書〕S・マークス『シェイクスピアと聖書』（日本基督教団出版局），アーサー・シモンズ『文学における象徴主義の運動』（平凡社），クレイグ・レイン『T・S・エリオット——イメージ・テクニスト・コンテクスト』。

阿部 洋治 あべ・ようじ

1946年生まれ。1974年東京神学大学大学院卒，1975年東京神学大学博士課程中退。1984～86年 Western Theological Seminary に留学，神学修士。1997～98年 Oxford Mansfield College にて在外研究。大学院卒業後，日本基督教団巣鴨教会伝道師，大阪教会伝道師，副牧師及び長居伝道所担当教師を経て，1986～1999年女子聖学院短期大学宗教主任及び日本基督教団緑聖教会協力牧師。1999～2005年聖学院大学人文学部宗教主任，2006年より人間福祉学部チャプレン。2007年より聖学院大学大学チャプレン。2002～07年日本基督教団上尾使徒教会協力牧師。〔著書〕『講解説教 コリント人への第二の手紙』（聖学院ゼネラル・サービス，2002年），『マールコ福音書のイエス像Ⅰ』（聖学院ゼネラル・サービス，2002年）ほか。

深山 祐 みやま・たすく

1941年北海道生まれ。1968年明治学院大学大学院文学研究科修士課程修了。1974年日本聖書神学校卒。1979年東京神学大学大学院（組織神学）修士課程修了。1979年から一年間，Glasgow University, Trinity College (research associate)。1980年—今日まで Warkenhorst 上智大学名誉教授より旧約聖書原典の指導を受ける。2006年聖学院大学アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士課程前期修了。現在同後期課程在学中。1964—68年明治学院東村山中学高等学校英語専任教諭，1968—71年青森明の星短期大学専任講師を経て，現在，亜細亜大学経済学部教授。〔著書〕『英訳聖書小史』，『英訳聖書の起源を訪ねて』（いずれも，南窓社）。

佐藤 貴史 さとう・たかし

1976年生まれ。2002年3月、聖学院大学大学院政治政策学研究科修士課程修了。2006年3月、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。博士（アメリカ・ヨーロッパ文化学）。現在、聖学院大学総合研究所特任研究員。

〔論文〕「フランツ・ローゼンツヴァイクの啓示概念」（『日本の神学』第44号、日本基督教学会、2005年）、「内なる衝動と外から到来する声——フランツ・ローゼンツヴァイクにおける二つの超越——」（『理想』第678号、理想社、2007年）、「政治からの撤退、歴史からの跳躍？——フランツ・ローゼンツヴァイクにおけるシオニズム批判と反歴史主義——」（『聖学院大学総合研究所紀要』第39号、2007年）ほか。

〔訳書〕マーク・リラ『シュラクサイの誘惑——現代思想にみる無謀な精神——』（共訳、日本経済評論社、2005年）、カール・バルト『十九世紀のプロテスタント神学 下』（共訳、カール・バルト著作集13、新教出版社、2007年）。

松尾 秀哉 まつお・ひでや

1965年生まれ。一橋大学社会学部卒。東邦ガス株式会社、株式会社東海メディカルプロダクツ勤務を経て、2007年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。現在、聖学院大学総合研究所准教授。専攻はベルギー政治史、比較政治学、キリスト教民主主義論。

〔論文・翻訳〕「キリスト教民主主義政党の「調停の政治」メカニズム——ベルギーにおける初期福祉国家改革期のカトリック党の党内政治過程——」（『国際関係論研究』（2000年10月）、「調停の政治」再考——ベルギー・キリスト教民主主義政党の六〇年代——」（『聖学院大学総合研究所紀要』第39号（2007年9月）など。

田中 史高 たなか・ふみたか

早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、早稲田大学講師。

〔論文〕「14世紀後半ホラント伯領諸都市の会合行動（dagvaarten）」（小倉欣一編『ヨーロッパの分化と統合』太陽出版、2004年）、「14・15世紀ドルドレヒト市政制度の発展と行政エリート」（『比較法史研究』14号、2006年）、「14～16世紀初めのドルドレヒト市行政職就任規定と執政門閥」（井内敏夫編『ヨーロッパ史のなかのエリート』太陽出版、2007年）ほか。

〔史料邦訳〕「ハールレム都市法（1245年）——解説と翻訳」（『日欄学会会誌』53号、2005年）。

武藤 健一 むとう・けんいち

1967年生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程満期退学（論文博士）。聖学院大学を含む非常勤講師。専攻はジェンダー憲法学，ジェンダー法学，ジェンダー学。

〔著書〕『概説 フェミニズム思想史』（共著，ミネルヴァ書房），『フランスの憲法判例』（共著，信山社）。

〔論文〕「女性と家族の憲法学」（『二一世紀の立憲主義』，勁草書房），など。

松本 周 まつもと・しゅう

東京神学大学大学院博士前期課程修了。現在，聖学院大学大学院博士後期課程在籍。日本基督教団使徒教会牧師。

〔論文〕「ラインホルド・ニーバーにおけるメシアニズム再考」（『聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要』2，2003年），「ラインホルド・ニーバーにおけるpower概念について」（東京神学大学総合研究所『紀要』8，2005年），「神学と社会福祉——ラインホルド・ニーバーの視点から」（『キリスト教社会福祉学研究』37，2005年），「聖書正典論の構造」（『聖学院大学総合研究所紀要』37，2006年）ほか。

瀬名 浩一 せな・こういち

1944年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。1968年日本開発銀行（現・日本政策投資銀行）入行，1990年関西国際空港株式会社経理部審議役（出向），1993年日本開発銀行営業第3部次長，1996年日本開発銀行設備投資研究所主任研究員，1997年4月～2001年3月北里大学非常勤講師，2001年3月日本政策投資銀行退職，同年4月より聖学院大学政治経済学部助教授就任，現在に至る。2003年4月～2005年3月法政大学兼任講師。現在，聖学院大学大学院政治経済学部コミュニティ政策学科助教授。研究課題：非営利組織の経営，研究分野：非営利組織の資金調達。〔論文〕「日米医療NPOの経済分析」（共著，『経済経営研究』1997年）。「医療NPOに関する日米税制比較論」（『公共選択の研究』1998年）。「ゴールドプラン政策の分析と評価」（『三田学会雑誌』2000年）。「コミュニティ経営から見た幼保一元化の可能性と問題点」（『聖学院大学論叢』2004年）。「日本赤十字社におけるサプライチェーンマネジメントの実践」（『聖学院大学論叢』2005年）。「地域金融から見たコミュニティ再生の現状と課題」（『聖学院大学論叢』2006年）。

エバート・D・オズバーン Evert D. Osburn

Multnomah Bible Collegeなどで学び、1988年、Portland, OregonのWestern Seminaryで、Exegetical TheologyのM.A.を取得。同年、The Independent Fundamental Churches of Americaで按手を受け、日本キリスト教団西荒川教会に宣教師として赴任。Regent UniversityでSchool of Leadership StudiesのAdvanced Graduate Studiesを修了。現在、同教会牧師。1992年、聖学院大学総合研究所所員になり、現在、聖学院大学准教授。聖学院国際センター所長。

市川 研 いちかわ・けん

1972年静岡県生まれ。1998年北海道医療大学看護福祉学部臨床心理専攻卒（学士：臨床心理学）、2001年米国オクラホマシティ大学大学院修了（MA in TESOL）、2004年愛知大学大学院修了（修士：国際コミュニケーション学）。日本語学校教員などを経て2005年4月より聖学院大学基礎総合教育部特任講師。専門は外国語教育政策、アジア英語。

笠井 かほる かさい・かほる

1951年山口県生まれ。国立音楽大学音楽学部器楽学科（ピアノ専攻）卒。名古屋音楽学校ピアノ講師、中日文化センター講師を経て、東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻修士課程修了。国立音楽大学音楽研究所音楽療法部門研修生修了。現在、聖学院大学人文学部児童学科、東京家政大学家政学部児童学科、東京家政大学短期大学部保育科、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院付属看護学校非常勤講師。2008年4月より川口短期大学教授。北浦和少年少女合唱団の伴奏及び指揮、指導、パンフルート大東晋氏の伴奏者として演奏活動。その他ソロ、伴奏の演奏会に出演。ピティナヤングピアニストコンペティション、北関東ジュニアピアノコンクール審査員。保育士。

〔著書〕『幼児の音楽教育——音楽的表現の指導——』（共著、音楽教育研究会）、『幼児の音楽教育』（共著、大空社）。

〔学術論文〕「保育者養成におけるピアノ指導に関する研究Ⅰ－Ⅷ」（共著）『日本保育学会発表論文集』（1994－2001）、「保育者養成における音楽教材の検討Ⅰ－Ⅶ」（共著）『日本保育学会発表論文集』（1994－2000）、「保育者養成における音楽指導に関する一考察——学生の歌詞理解の実態と問題点——」（共著）『静岡県立大学短期大学部研究紀要』第13－2号（2000）、「保育における音楽活動と電子楽器、機器の導入についてⅠ－Ⅲ」『日本保育学会発表論文集』（2001－2005）、「障害児の音楽活動における親と子の変容について」（共著）『東京家政大学人間文化研究所研究紀要』第1集（2007）など多数。